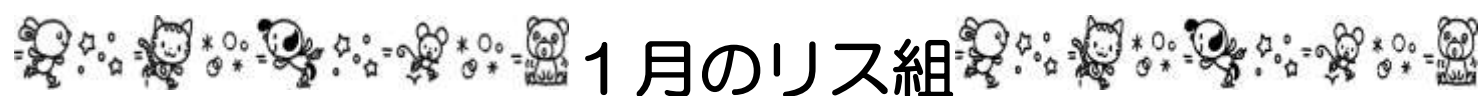




寒さが一段と厳しくなりましたが、子どもたちは毎日元気いっぱい過ごしています。

今年も暖冬で未だに雪が降らず子どもたちと降雪を心待ちにしている日々です。

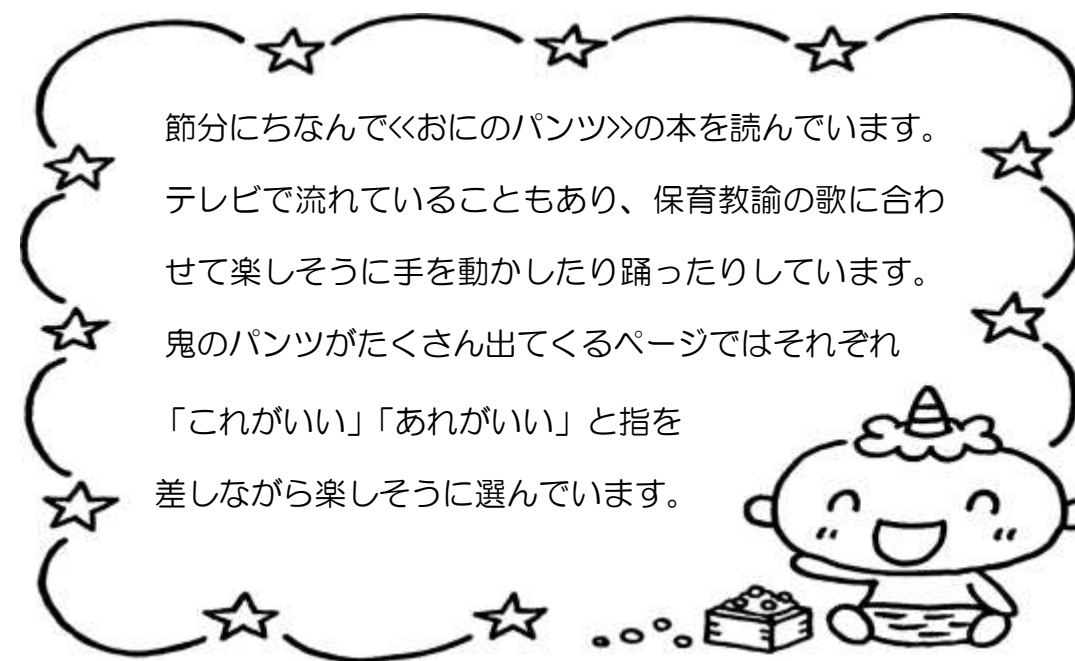
今年度も残り2ヶ月となりました。2月には発表会があります。日々の生活の様子や遊びを発表します。いつもと違う場所や雰囲気や泣いたり戸惑ってしまう姿もあると思いますが頑張ってきた姿を少しでも見て頂ければと思います。



休み明けから、二語文や三語文が話せるようになったり、保育教諭との言葉のやり取りが増え子どもたちの成長に驚かされます。また、“自分でやってみたい”という気持ちが強く見られるようになり、着替えや手洗いなど保育教諭が介助すると

「自分で!!」と何でもやってみようとする姿が増えています。“やってあげたい”という気持ちも芽生えお友だちの水筒を持って来て渡してくれたり、お友だちの着替えの入ったかごを持って来てくれたりする優しい姿もありますが「自分で!」とトラブルになりそうなこともあります。子ども達のやりたいという気持ちを大切にしました、日々成長していく子どもたちの姿を見逃さないように関わっていきます。

## 絵本の紹介



節分にちなんで「おにのパンツ」の本を読んでいます。テレビで流れていることもあり、保育教諭の歌に合わせて楽しそうに手を動かしたり踊ったりしています。鬼のパンツがたくさん出てくるページではそれぞれ「これがいい」「あれがいい」と指を差しながら楽しそうに選んでいます。

## エピソード

ブロック遊びをしていた時のことです。

Aちゃんが旗のブロックを持ち「て、て」と言いました。手を出すと「しゅっ、しゅっ」と何かを吹きかける真似を始めました。その様子を見ていたほかの子も、同じように手を出し「しゅっ、しゅっ」とかけてもらったり、Aちゃんと同じようにブロックを持ってきてお友だちの手にかけたりして遊び始めました。

※こだも園では毎日、給食やおやつの前に手を消毒していることからAちゃんはその様子を再現したことがわかります。

1歳児は、ひとり遊びから生活再現遊びへと広がっていく時期で、〇〇するつもり“で遊ぶようになります。再現遊びは、日々の生活の中で身近な大人がしていることを見たり自ら体験したりしたことを同じように真似て楽しみます。最近は、何気ない行動を真似して遊びに取り入れていることが増え、微笑ましい場面が多くみられます。



岩田たけひろ君が2月5日に退園されます。

また近くに来られた時は遊びに来てね。